

オレオレ詐欺(キャッシュカード受取型)の犯罪防止事例

【ケース1】「駐在さんに聞く！」

(60代 女性) 被害なし

警察官を名乗る男から、「大きな詐欺グループの事件があり、その名簿にあなたの名前がある。身分証など落としていないか。キャッシュカードでお金が引き出されている可能性がある。」等と電話で言われたが、女性が「本当にそんな話があるか駐在さんに聞く。」と言うと電話が切れた。

【ケース2】「こちらから連絡するので連絡先を教えて！」

(60代 女性) 被害なし

警察官を名乗る男から、「あなたのキャッシュカードが被害に遭っている。」との電話がかかってきた。女性が「キャッシュカードは持っていない。こちらから連絡するから警察の連絡先を教えて。」と言うと「110番しろ。」と言って電話が切れた。

【ケース3】「本当に警察ですか？」

(70代 女性) 被害なし

警察官を名乗る男から、「あなたのキャッシュカードが無くなっていないか調べてください。」と電話がかかってきた。女性が怪しいと思い、「本当に警察ですか。」と尋ねると、電話が切れた。

【ケース4】「あなたに話す必要はない！」

(70代 女性) 被害なし

警察官を名乗る男から、「犯人を逮捕したら押収した盗難物の中にあなたの物があった。あなたの住民基本台帳カードや銀行のキャッシュカードは無くなっていませんか。」と電話がかかってきた。女性が、「あなたに話す必要はない。」と答えると、「こりゃダメだ。」と言って電話が切れた。